

生きながら生まれ変わる

青少年健全育成大会

平成21年11月24日 福岡市民会館

生きながら生まれ変わる
青少年健全育成大会

生き立ち、難病と親の愛情

「福岡に来ると、ふるさとに帰つてあたなあといつ氣分になる」と。今日はうれしくて完熟マンゴーのような情熱的な紅のスースを着てきました」という言葉に参加者の頬がゆみました。お話をまず、元気ひんぴんで闊歩するような人生ではなかつたことにふれられました。骨が非常にろく壊れやすい難病をもつてうまれた米良さんは、やんちゃに動き回つて遊べないながら、両親やおばあさんには慈しんで育てられたそうです。特效薬もなく、骨折したのギブスをするしかないと「こよんなか」と「しかたがない」と受け入れつづきもコンプレックスだったそうです。

主催者の「今日は子どもたちのために私たちが学ぶ機会です」というあいさつに続き、講師の米良美一氏が登場。「もののけ姫」のテーマ曲を披露され、澄みきった声がホールに満ちていきました。



蓮の花のように

「自身の素晴らしい音楽の才能について、これは天からの借りものなのだと気づくまでは幸せではなかった」という言葉に参加者の頬がゆみました。お話をまず、元気ひんぴんで闊歩するような人生ではなかつたことにふれられました。骨が非常にろく壊れやすい難病をもつてうまれた米良さんは、やんちゃに動き回つて遊べないながら、両親やおばあさんには慈しんで育てられたそうです。特效薬もなく、骨折したのギブスをするしかないと「こよんなか」と「しかたがない」と受け入れつづきもコンプレックスだったそうです。

主催者の「今日は子どもたちのために私たちが学ぶ機会です」というあいさつに続き、講師の米良美一氏が登場。「もののけ姫」のテーマ曲を披露され、澄みきった声がホールに満ちていきました。

六歳から全寮制の養護学校に入つたため親元で過ごした期間が短かった米良さんは、「子どもにはある時期あり余るほど愛が必要で、信じてくれる大人、親が欠かせない」ということも話されました。



米良美一さんプロフィール

宮崎駿監督「もののけ姫」で一世を風靡し、その類稀な美声と音楽性で歐米でも高く評価されている。1994年に洗足学園音楽大学を首席卒業し、バッハ・コレギュム・ジャパン定期公演の教会カンタータでデビューする。1996年よりアムステルダム音楽院に留学。コンサート活動ではヨーロッパ各地及び日本で世界的な歌手として演奏を行なう。2005年にはスペインのオヴィエド市交響楽団と共演し、また、ドイツでの「シュレースヴィヒ・ホルシュタイン音楽祭」より招待され、ソロリサイタルにて大好評を博している。CDはスウェーデンのBISレーベルのほか、キングレコードより「ノスタルジア」など多数リリースされている。自叙伝も「天使の声～生きながら生まれ変わる」を2007年に出版、これまでの人生から得た経験をもとに全国で講演会も精力的に行っている。

発行所
福岡市中央区天神

1丁目10-1

市庁舎北別館
福岡市PTA協議会発行人
会長 安田敏明
広報委員会
(株)ミックスコーポレーション福岡市PTA協議会
ホームページ<http://www.fukuokacitypta.jp>

「難病のことや、これまでの自分と同じような苦しい目にあつかもしだす。「じじめる側を正当化するわけでは決してありませんが、どちらも被害者なのだと思います。じじめの側にはじじめてしまつ心の貧しさがあります。じじめられる側には心の中に卑屈さが残念ながらうまれてしまつ。本当につらじ思いをしている子どもは周りが助けてやらなければならぬのはもちろんですし、自分を尊ぶ気持ちを育てなければならぬと思つのです」と話されました。

六歳から全寮制の養護学校に入つたため親元で過ごした期間が短かった米良さんは、「子どもにはある時期あり余るほど愛が必要で、信じてくれる大人、親が欠かせない」ということも話されました。

この日は他に「アメイジング・グレイス」「花(すべての人の心に花を)」「コイントマケの唄」を披露されました。

この日は他に「アメイジング・グレイス」「花(すべての人の心に花を)」「コイントマケの唄」を披露されました。

青少年の問題は年々多様化し、複雑になっており、長期化する場合が増えているそうです。その背景の代表的なものとして家庭の経済的問題や家族の健康問題などの増加が挙げられます。そのような境遇のなかにいる子どもは、気持ちをまぎらわせたり、おさえたりするために不登校やじじめ、家出や万引き、暴力といった問題行動をとつてしまつのです。解決・回復するには、その原因探しをするより、今の行動に對してどうしたらいいのか、本人が楽になれるかを考える方が有効だそうです。悪いレッテルを貼らず、そのメッセージを理解してあげることが大切です。

問題行動は他人事ではなく、どこの家庭でもおこりうるものです。自分の子が問題行動をおこしてしまつと保護者は不安や心配な気持ちになりますが、柔軟かつ冷静に対応し、子どもを支えてあげること、そして孤立せずに相談する前向きな気持ちが大切です。

また、周囲の人たちの理解と支えも重要です。問題を抱えている家族にとって、身近な人からの「がんばって」ではなく「がんばっているね」「大丈夫だよ」などの言葉かけや、話を聞いてあげたり相談や支援に関する情報を教えてあげることも大きな支えになります。

あせらずに「家族や周囲の理解と支え」「本人のやる気」が出来るタイミングが合えば、九割以上の問題は解決・回復できると話されていました。

藤林氏がこれまでに受けられた相談や自身の経験などをまじえてのお話は大変参考になり、人は支えあいながら生きていいくのだとありため感じました。

教育問題勉強会

青少年における問題行動の現状と特徴 保護者・PTAに期待すること

平成21年1月9日 婦人会館





二俣川小学校では保護者や地域住民等が一体となって、学校運営に参画できる学校運営協議会という合議制の機関があり、委員は保護者と地域よりそれぞれ五名ずつ、学校より四名、学識者一名の十五名で構成されています。今年度より、協議会の目的をさらに実践的なものにするため、下部組織として「安全・ふれあい・学校支援」の三つの部会を立ち上げた 것입니다。

それでの部会の活動として、安全部では「子どもたちの自転車の乗り方」についての話をお聞きしました。

それぞれの訪問先で大変充実した意見交換が行われましたが、家庭・学校・地域での情報の共有や連携の大切さを改めて感じた研修でした。

今年度の国内研修は、横浜市立二俣川小学校と横浜市PTA連絡協議会を訪問し、視察や情報交換を行つてきました。

二俣川小学校では保護者や地域住民等が一体となって、学校運営に参画できる学校運営協議会といふ合議制の機関があり、委員は保護者と地域よりそれぞれ五名ずつ、学校より四名、学識者一名の十五名で構成されています。今年度より、協議会の目的をさらに実践的なものにするため、下部組織として「安全・ふれあい・学校支援」の三つの部会を立ち上げた 것입니다。

「協議会の役割をいかに機能させるか」や「中学校との連携強化」など、まだ課題も残る取り組みのことでしたが、「よりよい学校づくりをめざして協力体制をより深めていきたい」とお話をいただきました。

「協議会の役割をいかに機能させるか」や「中学校との連携強化」など、まだ課題も残る取り組みのことでしたが、「よりよい学校づくりをめざして協力体制をより深めていきたい」とお話をいただきました。

PTA指導者 国内研修

平成22年 2月5日・6日



基調講演
「脳科学からみた
早寝・早起き・朝ごはんの大切さ」

九州地区 子どもの生活習慣づくりフォーラム

平成二十一年一月三十日アクロス福岡



第1分科会
「家庭・学校・地域が連携した子どもの
生活習慣づくりの取り組み」

福岡市PTA連絡協議会では、横浜市の児童・生徒の安全確保のため、防犯カメラ等設備の充実・登下校時の見守り活動・安全マップの作成などに取り組む『よこはま学援隊』や、学校のしょん設置を保護者・教職員・地域のボランティアより行つてることなどについての話をお聞きしました。

福岡市PTA連絡協議会では、横浜市の児童・生徒の安全確保のため、防犯カメラ等設備の充実・登下校時の見守り活動・安全マップの作成などに取り組む『よこはま学援隊』や、学校のしょん設置を保護者・教職員・地域のボランティアより行つてることなどについての話をお聞きしました。

友泉中学校PTAの呼びかけで、平成十九年度より新たに城南区中学校六校での活動を開始しました。朝のあいさつ運動を中心に行なうと保護者・地域の方々がおたがいの交流を深め、元気でさわやかな街づくりを目的にこの運動を三年間継続してきました。

生徒会とも協力して校門や校区各所であいさつをし、強化週間を設定してアンケートの実施による実態調査を行い、結果を報告することで、より積極的な参加を呼びかけました。また、ポスター・チラシやのぼり旗を校区内に掲示し、地域全体を巻きこんでの運動として成果をあげてきました。

そのアンケート結果では、「あいさつするのもやもやが消える」「あいさつするのが心地良い」という喜びの声がある一方、「知らない人にあいさつして無視されたり、変な眼で見られることがあっていやだった」「暗い登下校時に、人に声をかけるのは怖い」等の意見もあつたそうですね。また、「子どもから親へのあいさつがないことに驚いた」「社会の基本なので、まずは家庭から行つことが大事」という保護者の意見をみると、あいさつを社会のマナーだとどうぞ、その啓発と教育が今後日本の未来にとって大切であると感じました。

最後にこの運動が他校区にも広げられていったことが発表されました。「おはようじつじつしゃじー」「やまびこ運動」～あじさいは元気な街の愛～とばくと題し、連合会全体での取り組みについて発表されました。

以前より独自に取り組んでいた

福岡市PTA協議会推薦 「小中学生総合保障制度(こども総合保険)」

新規申込 受付中！

第一次締切日 3月25日

お申込みは簡単です！「申込書」※をご郵送下さい。

お子様のリスクに対する様々な補償をセット！ ●ケガ・病気 ●賠償責任 ●育英費用 ●学校携行品など

福岡市PTA協議会固有の団体割引(割引率:約45%)が適用されます。 21年度加入者数:約24000名

●制度取扱代理店 株式会社コーリン(保障制度事務局) TEL:0120-228-553 FAX:715-2634 受付時間 平日午前9時~午後5時

●制度引受保険会社 A I U保険会社 東京海上日動火災保険株式会社 株式会社損害保険ジャパン



※パンフレット・申込書は3月初旬に学校より配布されます。

この広告は「小中学生総合保障制度(こども総合保険)」の概要についてお伝えしています。ご加入の際は必ず説明パンフレットおよび重要事項説明書をご覧ください。

特別事業 I

『自分の身体を知ろう、命』

平成21年12月1日 春吉中学校

昨年に引き続き内田美智子先生をお招きして、「生教育講演会」が行われました。内田先生は、助産師として産婦人科医院を開業されており、今までに2500人の赤ちゃんをとりあげてこられました。さらに、九州思春期研究会事務局長・性教育実践研究事業委員などをされています。

第1部 ~2学年生徒を対象に~

冒頭、先生ははじめて参加する生徒たちに「性教育と聞いて“恥ずかしい”と感じた人は正常ですよ。性の話は一番デリケートで、プライベートなこと。たえられなければ出て行つてもいいんですよ」と語りかけました。思春期のとても繊細な時期の生徒たちへの細やかな心づかいを感じました。そして、当日が“世界エイズデー”であったことから、HIV感染者が増えつづけているのは、G8やサミット参加国のなかで、日本のみであることにふれ「日本人が自分自身の問題としてHIVのことを考えない限り日本は変わらない。命のことをもっと深く考えてほしい」と日本人の自覚のなさを指摘されました。

先生から「生=？」という質問が投げかけられ、みんなが想像した答えは“死”でしたが、なんと先生の答えは「うまれてこなければ、“生”も“死”も、もともと存在しないつまり“うまれないこと”でした。

先生は、命の始まり・胎児の成長・出産の様子などのスライドを使い、「何もなく生まれることが、実は大変な奇跡の連続です。あなたたちが今ここにいること自体がすごいことなんです」と教えられました。そして、母親にとってわが子がどれほどかけがえのない存在かを、出産後の母親の感想をとおして伝えられました。…しかし同時に、生まれることができない命がたくさんある事実もしっかり教えてくださいました。



そして最後に、猿渡 瞳さんのスライドを流されました。

彼女は小6でがんが発見され、1年半に及ぶ過酷な闘病生活を送りました。あまりに厳しい現実を思い知らされながら、心だけは人一倍健康だった彼女はたくさんの優しく強い言葉をのこして亡くなりました。

彼女の口癖は「たとえ、どんな困難な壁にぶ



つかって悩んだり苦しんだりしたとしても、命さえあれば必ず前に進んでいける」でした。

先生は投げかけます。「私たちは“いつか必ず死ぬこと”だけが決まって生まれてきました。さあ、どうやって生きていきますか?生まれてきたことは、奇跡です。当たり前ではないんです。もったいないでしょ!私の命は私のものです。でも、私だけの命ではありません。私がここにいるだけで喜んでくれる人が、必ずいます。その人のために生きることも私の命です。絶対、親より先に死んではいけません」という先生や瞳さんからの強いメッセージを受け第1部を終了しました。

第2部 ~3学年生徒を対象に~

つづいて、受験を前にした生徒たちに「高校は行きたかったら行けばいい。誰もが平等に自分の人生を切りひらくことができるよ」と切りだされ、世界のとても信じられないような現実を突きつけられました。それは、恋をして妊娠したために、家族の手で火あぶりにされた中東の17歳の少女アドヤや、牛と引きかえに結婚させられ、命がけで逃げ出したケニアの14歳の少女メアリーの話などでした。自由に生きることが全く許されない地域の存在や目を覆いたくなるような現実に、今の自分たちがいかに自由に何でも選択でき、恵まれた環境のなかで生きているかということを思い知らされました。

さらに、生きたくても生きることができない命もあるのだと13歳で白血病にかかり、18歳で亡くなった加藤さんを紹介されました。

「みんな後悔しない、思いどおりの生き方を選択してください。こうなりたい!みんな大人になりたい!と思ったらそななる努力をして下さい。それが私たちの生きる道です!一番大切なことは、今、あなたたちがここにいること。歩いていける道が目の前にあること。あなたたちを支えてくれる人がいること。私たちは必ず死にます。その日までいつしうけんめい生きなければいけません。死んではいけません。ことばでも、腕力でも人を傷つけてはいけません。ひとは、生きるために生まれてきます。誰かに愛されるために生まれてきます。誰かを愛するために生まれてきます。みんなそこにいるだけで価値があるのだから」

先生の力のこもった一言一言に、まるで魂がゆさぶられるようでした。もうすぐ中学校を卒立つ生徒たちにとって、先生の言葉は心に焼きついたんだろうと思いました。もし悩んでも、つまずいても、死にたくなっても、きっと先生の言葉を思い出し、しっかり生きぬいてくれるでしょう。生の原点をつくづく考えさせられる講演会でした。

早寝・早起き・朝ごはん

PR大作戦!

平成22年1月14日 南片江小学校

「早寝・早起き・朝ごはん」の大切さを子どもたちに分かりやすく伝えようと、南片江小学校父母教師会がアニメのDVDを制作しました。題して「ぼぽんたの『早寝・早起き・朝ごはん』大作戦!!ザ・ムービー」。タヌキのぼぽんたは、南片江小のマスコットで、DVDでは主役として子どもたちに早寝・早起き・朝ごはんをしっかりと食べることの大切さを伝えています。1月14日の給食時間に各教室でDVDが上映されました。DVDを作ったきっかけなどを、同小父母教師会の武田裕之会長にお聞きしました。

-DVDを作ろうと思われたきっかけは?

「当初は紙芝居にしようかと思いましたが、子どもたちに伝える方法はほかにないかと考えて、動画の表現の方がいいと判断してDVDにしました」

-制作にはどういう方が参加されたのですか?

「みなさん保護者です。PTA役員と広報委員、それに読み聞かせグループのみなさんにも協力してもらいました。絵が上手な広報委員が鉛筆で原画を書いて、私がパソコンで色づけをし、スキャナーでとり込み編集をし、すべて手作りで行いました。声優役は読み聞かせグループにお願いしました。制作を通じて保護者の人脈が広がったことがよかったです」

-どんな内容ですか?

「ぼぽんたは、夜ふかしや朝ねぼう、朝食抜きでもいいと思うのですが、ぼぽんたの母さんが『早寝・早起き・朝ごはんの子どもは勉強や運動の成績もいいし、元気もいい

のよ』と言って、夜ふかしばかりの『ねらんぞ王』と計算競争などをして勝ち、それをみたばぽんたは早寝・早起き・朝ごはんの大切さを知るというお話をです」



マスコットキャラクター
「ぼぼんた」

-DVDの上映時間は?

「6分です」

-制作にはどれくらい時間がかかりましたか?

「あいた時間を利用して、無理をしないように心がけましたが、2学期いっぱいかかりました」

-制作で大変だったことはありますか?

「録音をするときです。学校で録音しましたが、外部の音が入らないよう、周囲が静かになったときに行いました」

-上映した際の子どもたちの反応は、どうでしたか?

「高学年には内容が少し幼かったかなとも感じましたが、それでもみんな楽しんで見てくれたようです。『早寝・早起き・朝ごはんの大切さがよく分かった』との声も多く聞きました」



-DVD制作を振りかえってみて、いかがでしたか?

「学校との連携があったからこそできました。子どもたちの環境づくりのために、学校と保護者の協力関係をさらに強め、活動を活発にさせていきますね」

「ポンペイ展に行って」
イタリア南部の古代ローマ人の息吹を感じさせるポンペイの街は、七九年ヴェスヴィオ山の噴火により一夜にして埋没。火山灰に覆われたことで人々の生活がそのまま保存され、数々の壁画や調度品を色鮮やかなまま見る事ができます。
会場を進むにつれて「昔のものなのに、こんなにきれいに残っている」と、展示された二六〇点の絵画や彫刻などに目を見張りました。
アキレス、ポセイドン、ヘルクレス、…ギリシャ神話に登場する神々の彫刻。それらの名前を見た子どもは「あ、星座に出でてくる名前もある」と、初めてギリシャ神話つながりのある星座があることを知ったようでした。
今でも輝きを失わない銀食器、優美で豪華な装飾を施した家具や工芸品に「昔からこんな技術が発達していたんだね」と親子で当時の高度な技術に思わず感嘆し、千以上の時を経て、ローマ帝国最盛期の文化にふれることができました。

「ポンペイ展に行って」

度で七年目を迎えました。
今回は、親子で芸術鑑賞をしていただけた、一月五日(火)～三月七日(日)まで福岡市博物館で開催されている「ポンペイ展世界遺産古代ローマ文明の奇跡」への親子ご招待を企画しました。応募数の多さに、会員のみなさまのこの事業への関心の高さを実感しながら、熱気あふれる抽選会となりました。



特別事業 II

平成21年度PTA個人表彰・団体表彰受賞一覧

個人の部

日本PTA全国協議会会長表彰

福岡市PTA協議会前副会長 福原 京子
福岡市PTA協議会前副会長 渡部利江子

九州ブロックPTA協議会会長表彰

福岡市PTA協議会前副会長 福原 京子
福岡市PTA協議会前副会長 渡部利江子

九州ブロックPTA協議会会長感謝状

福岡市PTA協議会前副会長 福原 京子
福岡市PTA協議会前事務局長 中村 親良

団体の部

文部科学大臣表彰

福岡市立内野小学校父母教師会
福岡市立青葉中学校父母教師会

福岡県教育委員会表彰

福岡市立脇山小学校父母教師会

福岡市教育委員会表彰

福岡市立板付北小学校父母教師会

日本PTA全国協議会会長表彰

福岡市立平尾中学校PTA

九州ブロックPTA協議会会長表彰

福岡市立原小学校父母教師会
福岡市立有住小学校父母教師会

平成二十一年度各種表彰合同祝賀会が、福岡市教育委員会教育長・こども未来局局長をはじめとするご来賓の方々や多数の関係者が出席するなか、ソラリア西鉄ホテルにて開かれました。

個人の部で受賞された福原京子前副会長は、「みなさまに支えられてやつていただいた三年間でした。いまは単位PTAで子どもたちの笑顔やがんばりに支えられながら、日々がんばっています。今後も子どもたちのために自分のためにがんばっていきたい」と述べられました。

受賞された方々の「子どもたちのために」という想いがとても印象的でした。

受賞おめでとうございました。

受賞された方々の「子どもたちのために」という想いがとても印象的でした。

受賞おめでとうございます
平成21年度
各種表彰
合同祝賀会
平成22年 1月27日

同じく渡部利江子前副会長は「みんなに恵まれて、勉強させていただきました。いまはPTAから離れていますが、楽しかったことを思い出し、人間関係が大事だと痛感した二年間でした」と述べられました。

団体の部で受賞された福岡市立青葉中学校父母教師会岡部初音会長は「子どもたち同士、保護者同士、学校と保護者、地域と保護者がそれぞれを知るという活動をしています。子どもたちをとり巻く環境を大切にして、子どもたちがいかに大切にされているかということを子どもたち自身に知つてもらい、安心して羽ばたいていくてくれるよう活動をつづけていきたい」PTA活動はつづけていくことなどが大事ですが、この受賞を支えとして今後もがんばっていきたい」と述べられました。



Column

梅林中学校 校長 増川郁子

いかそう！読者の声

よりよい広報誌「ふよう」をめざして
「ふよう」(33号モ)ター、ケートより
関心をもった記事は)●指定都市
PTA情報交換会については、それ
ぞれの分科会での子どもを中心にお
いてPTAの真剣な取り組みが伝わ
っていました。●「子どもが伸びる睡
眠とは」「子どもの自主性を育むノ
ハタチ運動」親がます重要性を
理解し、親が本気になれば子どもも
変わること。家庭教育の本質だと思いま
した。●「この子らに教えられて」は
ぜひ参加してみたいと思う内容で、
子どもの可能性を感じることの大切
さがわかりました。

全体を通して)●色・文字のバランス
がよく暖かみのある紙面になっています
と思います。●内容が盛りだくさんで
読みたくなりました。●写真や文
字がやや小さい感じました。
子どもへの可能性を感じることの大
切さがわかりました。

今後のふように望むこと)●学校保
護者相談室の連絡先をのせていただき
いたことは、すごくいいことだと思
いました。頻繁にのせていただきた
いと思います。●保護者の意識調
査。ベテランママの子育てQ&A。な
どの記事があるといふと思ひます。
貴重な意見、ありがとうございました。

Style FM
「きれい計画.com」内コーナー
「もっと知りたいPTA」

毎週金曜日 13:30~14:00
FM 76.8MHz 放送中
インターネット放送(画像つき)
<http://www.768.jp>

広報紙「ふよう」の由来
みなさんご存知ですか?
タイトルは、福岡市花のふよ
うをイメージしています。
第一号は昭和四十七年十一月
日に発行され、以後三十八年
間、福岡市のPTA活動をお
知らせしています。次号も盛
りだくさんの内容で発行しま
すので、ぜひ、すみずみまでご
覧ください。

通信制高等学校への入学・転校・編入は

福岡翔学館高等学院へ

学校見学受付中!

fs 〒812-0013
福岡市博多区博多駅東2-5-11

詳しくはHPをご覧ください <http://www.fs-h.jp/>

092-433-0451

課外活動
スクーリング
個別授業
相談
休憩時間
放課後保護者会
保護者会

劇団員募集!

幼児(3歳~)、小中学生、高校生~成人一般、熟年者の各クラス。初心者でも大丈夫、基礎から丁寧に指導します。合宿、演劇鑑賞会他、季節のイベントや体験も有。趣味の方から、芸大受験・宝塚・四季・声優・ミュージカルへの道をめざす方まで、サポート!

お気軽にお問い合わせ下さい TEL:090-5489-5917 FAX:092-953-4638 info@tkbell.com http://tkbell.com

劇団ティンカーベル
Tinker Bell

幼児(3歳~)、小中学生、高校生~成人一般、熟年者の各クラス。初心者でも大丈夫、基礎から丁寧に指導します。合宿、演劇鑑賞会他、季節のイベントや体験も有。趣味の方から、芸大受験・宝塚・四季・声優・ミュージカルへの道をめざす方まで、サポート!